

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1134	(H.24)No.	1134
-----------	------	-----------	------

事務事業名		学校支援ボランティア推進事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		学校教育室		和南義一	63-7882
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～平成	年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	465401
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	学校支援ボランティア推進事業	
項	教育総務費	(小事業名)	
目	教育振興費	学校支援ボランティア推進事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>市内各小中学校がより身近で親しみやすい開かれた学校づくりをめざして教育に取り組むために、地域の人々や保護者の様々な知識、経験や技能を活かして、学校教育をより充実するための事業です。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>ボランティアを募集・登録し、学校からの要望により派遣し、各学校における市民ボランティア活動の活性化を図ります。ボランティア研修を主に担う学校ボランティアパートナーシップ事業と連携し、より裾野が広がる取組を進めていきます。</p>	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・報償費 3千円 ・消耗品費 299千円		・報償費(コーディネーター養成研修講師報償費10千円)10千円 ・消耗品費(15千円×22校+事務局36千円)366千円		補助金・交付金		その他 ( )
					平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	302千円	376千円	376千円	376千円	376千円	376千円	376千円
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他( )							
一般財源	(0) 302	376	376	376	376	376	376
人工数							
職員	0.02人	0.03人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
臨時職員等	0.01人	0.02人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 163千円	253千円	163千円	163千円	163千円	163千円	163千円
+ 総事業費	(0千円) 465千円	629千円	539千円	539千円	539千円	539千円	539千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	ボランティア登録者数	-	-	550	550	550
	実績		509	530	613	637	
活動指標	目標	コーディネーター数	-	-	10	15	22
	実績		0	1	9	12	
成果指標	目標	小中学校の教育環境に満足している市民の割合	-	-	-	-	62.0
	実績		59.2	57.5	59.6	60.6	

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
登録数は順調に増加している。地域に学校支援ボランティアが浸透してきている。しかし、学校間にかなりの差がある。	うまく活用できている学校の取組を情報交換したり、研修会への参加を呼びかける。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
学校は、学校支援ボランティアを必要としているが、学校のニーズとボランティアの意向の調整が必要となってくる。	

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	現在、県の事業である学校支援地域本部事業との統合は可能であるが、ボランティアのいる学校が、すべて学校地域支援本部事業を受けているわけではない。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	青蓮寺・百合が丘地区、桔梗が丘地区
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

今後、中学校区を単位を基本として名張市版の学校支援地域本部を設置して、開かれた学校づくりをめざします。

#### 特記事項